

## 労働安全衛生・健康づくり

社員の方に安心して働いていただけるよう、安全の確保や健康管理に配慮しています。

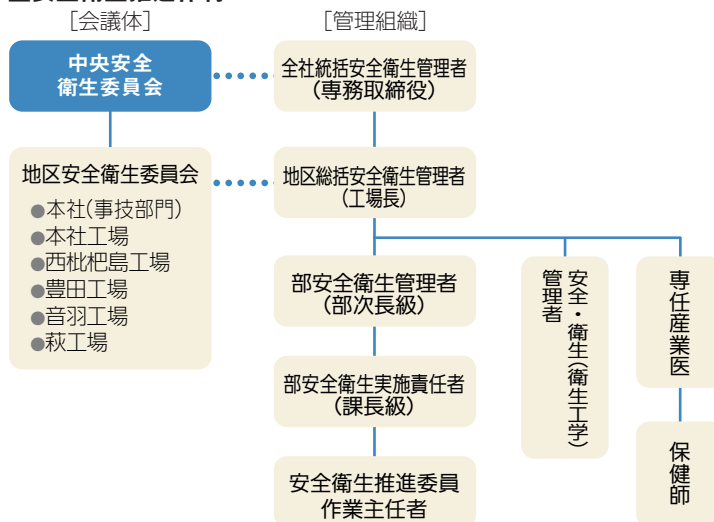
社員一人ひとりが安全で、健康的に働ける職場環境の整備を進めています。労働災害の発生を防止するため、リスク解明などに努めるほか、啓発活動を実施。また、メンタルヘルスケアなど社員の健康の保持・増進活動にも積極的に取り組んでいます。

### 労働安全の考え方

#### 安全衛生基本方針

- |                  |                |
|------------------|----------------|
| 1 安全は全てに優先       | 3 健康は自分で守る宝物   |
| 2 ルールを守ることは安全の基本 | 4 「災害ゼロ」は私達の願い |

### 安全衛生推進体制



### 安全活動

「危険度ゼロ」を目標にした活動を推進しています。日常の作業として、リスクアセスメント手法※を用い、作業中のリスクの低減やヒヤリハット要因の解明と対策、危険予知(KY活動)、職場安全パトロールを国内外子会社・関連会社を含め、全社的にを行っています。

安全強化月間(7月)には、初日に通用門で全社員に安全グッズの配布、役員による重大災害につながる設備点検等の諸活動を実施しています。また、長期連休中に構内工事を行う仕入先、協力会社を対象とした安全大会を年3回開催し、安全作業の徹底を図っています。

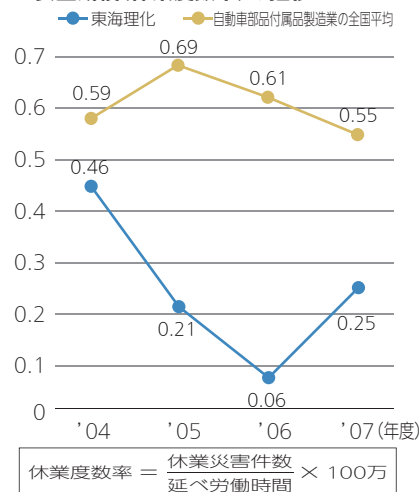


▲役員点検の様子

※リスクアセスメント

危機の発生の際、その発生源や経路・結果などを分析し、リスクの解決をはかる手順のこと。

### 安全成績(休業度数率)の推移



### 衛生・健康づくり活動

快適な職場環境づくりのために、有害な化学物質の管理・低減、および定期的な環境測定を行い、騒音・粉じん等の改善に努めています。さらにタバコの分煙活動の推進にも継続して取り組んでいます。

また、保健活動のさらなる充実のために、新任監督者、新任次長・課長安全衛生教育で、産業医・保健師から健康教育を行い、職場における健康支援活動につなげています。



▲保健師による衛生教育の様子